

研究課題名	小児気管支喘息患者の気道可逆性検査とモストグラフを用いた呼吸抵抗の関係についての研究
倫理委員会承認番号	No. 21 - 11
研究の対象	JA広島総合病院でこれまでに肺機能検査、呼吸抵抗検査をおこなってこられた気管支喘息の患者様を対象としています。
研究目的・方法	<p>保険診療内の検査である気道可逆性検査は、気管支喘息の診断や病状を評価する指標として欠かせない検査です。しかし、気道可逆性を検討するには肺機能検査が必要であり、最大努力性呼吸を行うことが難しく、肺機能検査に習熟しない小児では、可逆性を確認することが困難となる場合もあります。一方、強制オシレーション法による呼吸抵抗検査は、検査をうけるお子さんに検査をうけるための習熟を必要としない検査で、成人では気道可逆性の指標として活用した報告が本邦でも多くみられています。</p> <p>今回は、以上の点を踏まえ、2018年から2020年の小中学生の夏期休暇中に、小児科外来で気道可逆性の検討をおこなった際に、同時に呼吸抵抗の値を確認したモストグラフ検査の各指標項目の変化を確認したお子さんの検査結果を用い、呼吸抵抗検査結果の変化で気道可逆性の予測が可能かを検討します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	今回の検討では、上記したように2018年から2020年に小児科にておこなわれた肺機能検査、呼吸抵抗検査の結果を用いて検討をおこないます。
外部への試料・情報の提供	検討結果は、学術論文として専門学会の学会誌へ投稿や、学会報告等という形で報告を考えています。
個人情報の取り扱い	<p>使用した情報から氏名や患者番号等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。</p> <p>また、上記したように、研究成果は学術論文や学会報告等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。</p>
利益相反の有無	有 ・ 無 <input type="radio"/> ()
お問い合わせ先	<p>廿日市市地御前1丁目3番3号 JA広島総合病院 小児科 研究責任者：岡島 宏易 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573</p>
備考	